

支援決定プランの概要

事業の名称	ライダーたちと湯長谷藩のみなとまち「江名」を再興する、超高速道路参勤交代ツーリング
団体名称	江名の町復興推進協議会
プランの骨子	<p>1.ライダーたちと江名のおばちゃんたちとの協働まちづくり 漁業衰退、東日本大震災で過疎化が進むいわき市江名町へ、常磐高速道路を通じて集まるライダーたちの支援を受けて、ライダーだけではなく、観光客を誘致し、将来の江名町への住民移住に結び付ける。江名にある地域の資源(人・文化・暮らし・伝統)を地元とライダーたちとで発見し、発信していくための「地元住民たちとライダーたちのコラボレーションまちづくり」の拠点をつくり、江名と全国との情報交流を進め、「江名」を全国的に認知させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「江名のおばちやま食堂」の実施と発信 ・「江名のまちづくり勉強会」の開催(地元住民たちとライダーたちとの交流ワークショップ/月1回) ・「江名の町専用サイト」を立ち上げ、情報発信を行う <p>2.湯長谷藩(いわき市常磐湯本～江名地区)のみなとまちであった江名港として、湯本・江名の地域連携とライダーたちとの交流イベントの開催(年1回) 「超高速道路参勤交代！ライダーズミーティングIN湯長谷」 湯本温泉と江名と連携し、いわきの伝統・文化・食と全国ライダーたちが交流するライダー'sイベント このイベントを、今後ライダーたちの中での有数のビックイベントとして定着させていく。</p> <p>3.超高速道路参勤交代！宿場のお役人手形の発行と湯長谷藩ライダーズマップ NEXCO東日本および、いわき湯本温泉連合青年有志会の協力のもと、常磐高速道路の三郷 ⇄ いわき湯本IC間のサービスエリアにおいて、「江名・湯本温泉の旧湯長谷藩」の情報発信を行い、観光客の誘致を行う。 特にGWでも渋滞しない友部JCTから先の福島方面への交通量を増やすために、友部SAから湯本ICまでのSA/PAにて通行証を作成し、友部SAで台紙を入手し、その後、関本までの5つのPA/SAにてスタンプラリーを実施。 湯本温泉と江名で連携し、この通行証で、湯本の協力店や江名のおばちやま食堂にて特典サービスを実施。湯長谷藩ライダーズマップを作る。</p> <p>4.漁港のまち、おばちやま交流視察勉強会 地元漁港の人々でまちおこしを実施している漁港へ、江名のおばちやまたちが自ら赴き、視察・交流をする 今後は、他の漁港のおばちやまたちを江名港へ集めるバスツアーも企て、「漁港のおばちやま」交流を作り出したい。</p> <p>5.この事業は、いわきの12人実行委員会 江名の町再生プロジェクト、いわきライダーの会 いわき湯本温泉連合青年有志会 いわき市等の協働で行う</p>

事業活動地域

